



みずほ

第 34 号

平成23年12月1日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲ぎふ清流国体ボウリング競技リハーサル大会＝岐阜グランドボウル

平成23年第3回瑞穂市議会定例会(9月)

- 第3回定例会(9月)
各委員会審査～本会議 … 2p
- 財政状況、監査委員の意見
請願、意見書、議員表彰 …… 5p
- 議員研修、議会活動日誌(8月～10月) … 6p
- 一般質問～市政を問う～
会派代表質問(7会派)・個人質問(7人) … 7p
- 議案の審議結果 ……………… 14p

平成23年
第3回定例会(9月)

9月定例会は、9月2日から26日間の会期で開会した。

本定例会に市長から提出された議案は21議案でした。9月2日には、12月定例会から継続審査となっていた請願の質疑・討論・採決をした後、上程した議案の提案説明がされた。そして、9月8日に議案に対する総括質疑を行い、その議案を各常任委員会に付託し、委員会にて審査した。(議案内容及び予算の詳細は、広報みずほ10月号をご覧ください)

平成23年第3回瑞穂市議会定例会は、9月2日から26日間の会期で開会した。
本定例会では、市長から提出された議案21件のほか、継続審査中だった請願1件、新たな請願1件、議員が提出した意見書1件などを審議した。
そのうち、一般会計補正予算(第3号)は修正可決となり、総務常任委員会に付託された請願は継続審査となった。その他の議案はすべて原案のとおり可決して9月27日に閉会した。

9/2	本会議 議案の提案説明
9/8	本会議 議案に対する総括質疑 議案を各委員会に付託
9/14	各委員会審査 (質疑・討論・採決)
9/21	本会議 一般質問
9/27	本会議 委員長報告 質疑・討論・採決

文教常任委員会
文教常任委員会に付託された議案は次の2議案で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果	議案名
認定	平成22年度瑞穂市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
可決	平成23年度瑞穂市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)

平成22年度瑞穂市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

Q アレルギー反応を起こす子は何人いるのか。また、給食センター建設時には、アレルギー食が作れる施設と聞いたが、なぜ現在は作っていないのか。
A アレルギー反応で全部食べられない子は、現在はいない。栄養職員、先生保護者と本人の間で、文書を交わし、食べられないものを自覚しているので、自分でよけて食べているのが現状である。

Q 給食費の未納者に対し、子ども手当からの天引きができるようになったが、市としてはどうしていくのか。
A 国から保育料、給食費において本人同意があればできる旨の通知があった。現在、国の方針に基づき検討している。

結果	議案名
認定	平成22年度瑞穂市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定	平成22年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
可決	平成23年度瑞穂市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
可決	平成23年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
可決	平成23年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第2号)
採択	住宅リフォーム助成制度創設を求める請願

平成22年度瑞穂市水道事業会計決算の認定について **認定**

平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号) **可決**

この議案について、各常任委員会ですら部分の協議をした結果、総務常任委員会へ次のような意見が送られた。

産業建設常任委員会協議会より
公園費の土地建物等購入費として1億8250万円が計上されている。今回用地購入の計画がなされている3カ所のうち、祖父江伯母塚中地内の公園用地については、慎重に審議されたい。

文教常任委員会協議会より

安心子ども基金事業補助金として4億1432万円が計上されている。社会福祉法人清流会が市内に設置しようとする保育所への補助金について、牛牧第1保育所の整備について、現在調査中であり、整備計画がまだ固まっていない。その時点で、同じ地域に民間の参入という点では問題があるのではないか。瑞穂市の保育方針は公設公営と明言している。今後、この方針を継続するのか。また、民営化の方向に転換するのも決まっていない。この時点で清流会に補助金を交付するのはいかがなものか。など5点について意見があった。

総務常任委員会では、これらの意見を踏まえて、主に次のような質疑があった。

認定	議案名
認定	平成22年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定	平成22年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定	平成22年度瑞穂市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について
可決	平成23年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
可決	平成23年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

平成22年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

執行部より収納率について、現年度分、過年度分ともに前年度を上回り、特に滞納分については、市税との収納対策プロジェクトチームの成果が出たとの補足説明があった。

Q 保険税が7割、5割、2割と軽減されている世帯数は。
A 7割軽減が1596世帯、5割軽減が351世帯、2割軽減が738世帯であった。

反対討論 所得階層で200万円以下の世帯が多い。また、平成22年度から

Q 宮田の水源地を購入した坪単価はいくらか。
A 継続的に借地ということで行っていく予定だったが、所有者からの買取希望があった。借地として20年以上経過していたこともあり、実際の不動産鑑定評価額坪83,636円を参考に、宮田水源用地が借地契約に基づく借地であることを考慮し、交渉の結果、坪67,107円、総額5233万3400円で購入した。
Q 漏水箇所の把握方法とその対策はどうなっているのか。
A 市全域を3ブロックに分けて、年度ごとに各ブロックをローテーションさせながら漏水調査を委託している。発見された漏水箇所は翌年度に補修している。
委員会では、その後、討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり認定され、本会議に提出されることとなった。

厚生常任委員会

厚生常任委員会に付託された議案は次の7議案で、その結果と主な審査内容は次のとおりでした。

結果	議案名
可決	瑞穂市税条例等の一部を改正する条例について
可決	瑞穂市災害弔慰金の支給等に關する条例の一部を改正する条例について

(市道)

生津の市道は、同じ場所なのに、名目を9月議会では児童公園で、12月議会では水防倉庫で、今回は道路と変更して計上している。名目を変えてまで購入しなければいけないのか。
現場は急勾配の道で大変危険なため改良してほしい旨の要望がある。改良すると道路以外の余剰地があるので、それを公園や水防倉庫との意見があったが、元々は道路改良が目的であった。この場所は、通学路でもあり、死角で危険な場所でもあるので現場の改良は必要と判断した。

牛牧の市道の購入費が非常に高いと思うがどうしてか。
この場所は、大変車の交通量も激しく、通学路で歩行者も多い。狭い南側は待機場所もなく、大変危険で長年の懸案事項でもあった。それがたまたま売り地として出たが、市は待機場所の道路改良として更地で購入したので、建物・植栽・土留め等の撤去費、広告料の諸費用から交渉をし価格を決定した。建物等を除けば、不動産鑑定価格と比較しても、同額であり決して高くはない。

(公園費の土地購入)
祖父江伯母塚の公園は、街区公園として、避難場所として規模を拡大できないのか。
今回の伯母塚は街区公園を計画している。今後、財政が許せば検討したい。

その後、付帯決議が提出され、採決の結果、賛成多数で可決した。

議案第59号平成23年度一般会計補正予算(第3号)に関する付帯決議(要旨)
生津と牛牧の市道と穂積野口公園の土地単価については、公正な鑑定評価のうえ、また、美来の森の焼却炉施設解体工事の予算執行についても議会と協議すること。

財政の状況

区 分	(単位:千円)		増減額 A-B
	平成22年度 A	平成21年度 B	
歳入総額	17,207,476	17,494,730	△287,254
歳出総額	16,074,745	16,274,097	△199,352
歳入歳出差引額	1,132,731	1,220,633	△87,902
翌年度へ繰り越すべき財源	34,051	379,854	△345,803
基金積立金	1,221,121	784,303	436,818
うち 財政調整基金	695,932	14,120	681,812
地方債繰上償還金	391,028	0	391,028
財政調整基金取崩し額	519,556	340,000	179,556
積立基金	2,425,767	2,249,391	176,376
減債基金	1,555,211	1,552,202	3,009
その他特定目的基金	4,648,102	4,620,430	27,672
計	8,629,080	8,422,023	207,057
土地開発基金現在高	188,566	188,346	220
地方債現在高	12,979,068	13,064,600 (11,782,006)	△85,532

※括弧内は、下水道(コブヲ)分を除いた数値

(私立保育園への補助金)

5月20日に清流会が教育委員会に初めて事業計画の申し入れの話があり市長とアポを取り、5月23日に市長室で事業計画の話が口頭であった。その後書類提出の必要性を説明し、その後6月17日に事業計画書が提出された。市の受け入れ体制は。

前年度にもおひさま保育園で同様の「安心こども基金」を活用して、規模は違うが事業を実施したように、市の補助金交付要綱がある。また、児童福祉法には「保育の実施への需要が増大している市町村は、公有財産の貸付けその他の必要な措置を積極的に講ずることにより、社会福祉法人その他の多様な事業者の能力を活用した保育所の設置又は運営を促進し、保育の実施に係る供給を効率的かつ計画的に増大させるものとする。」とあり、これらに準じた体制で考えていきたい。

7月12日の部長会議にて9月補正の事業把握を依頼し、19日の政策審議会にて事業説明をした。22日の県下副市長会議にて県より「安心こども基金が潤沢に残っている」との活用要請があった。また、26日の政策審議会でも補正予算に計上することを確認し、8月3日に副市長査定、11日に市長査定を実施した。検討では、この事業は、県の要請にもかなったこと、なおかつ、市の状況を勘案すれば採択しても良い事業ではないかとの意見があった。その結果、賛成多数で可決した。

決算審査の対象は、平成22年度一般会計と六つの特別会計、財産に関する調査、基金運用状況、公営企業としての水道事業会計の合計10部門である。審査の期間は、平成23年7月5日から8月24日までの間、慎重かつ詳細に審査をした。

審査の結果は、各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査等、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し、正確であるものと認められた。また、予算執行の状況は、全般にわたって適正に執行されていると認められる。財産及び基金の管理・運用状況は、関係諸帳簿と符合し、いずれも正確であり、それぞれの保有・設置目的に適合し、効率的に運用されているものと認められる。

監査委員の意見

水道事業会計では、収益率、構成比率、財務比率など、その数値は良好であり、当事業は健全な経営がなされていると認められる。今後とも自助努力により、独立採算制の経営の原則に立脚した事業運営の推進を図り、企業努

のほか、事業計画書の内容確認、ほかの保育園との意思確認をしたうえで政策決定を踏まえて計上した。市長は民営化はしないと断言しているがどうなのか。
公営公設で行う。民営化をするとは言っていない。そして、民間の参入を認めないとは一切言っていない。これは市民の選択肢が増えることである。

以前、清流会には、ほづみ幼稚園の建物を無償貸与する話があった。その時、保育所は公設公営と明言しているが、牛牧第1保育所の老朽化に伴い、民間の参入は民営化と同じである。

本会議

本会議では総務委員長報告の後、「安心こども基金事業補助金」と「祖父江伯母塚の土地購入費」関係を削除する修正案が提出され、次のような討論が行われた。

民営と公営が切磋琢磨して、市民のニーズにこたえるのが我々誘導する立場である。清流会の牛牧への進出によって、利用者が多岐にわたって選択

力をするともに、漏水防止対策の推進、老朽化に伴う施設・設備の更新、施設・管路の耐震化など水道システム全体に対する長期的視野での計画に基づく財政運営をされたい。
本年度は、収入未済額が7億4106万円、不納欠損額が1億1314万円ある。今後とも歳入の増加は見込めない状況にあると思われ、自主財源の確保が最も重要と考える。税においては、プロジェクトチームによる収納体制となったが、料においても同様に検討いただき、収納率の向上をお願いしたい。さらに、子ども手当支給に関する特別措置法が成立し、そこでは、保護者の同意が得られれば給食費、保育料の子ども手当からの天引きが可能とされているので、同意を得て10月から天引きできるように至急対処されたい。また、不納欠損処分については、諸法に準拠し法令遵守のもと慎重に対処し、的確に処理していただきたい。

この他、平成19年度から行うことになった、財政健全化審査及び下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・水道事業会計における経営健全化審査について実施したところ、財政健全化判断比率については、実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担率は発生せず、実質公債費比率は4.2%となっており、毎年少しずつ上昇している。二つの公営企業会計における経営健全化判断比率については、資金不足比率は発生しなかった。

でき、市外に行ってた人が市内に帰ってこれる。
民で担っていたただける部分はしっかりと民で担っていただいで、公がしっかりとそれを補い、指導・教育をしていくのが本来の姿ではないか。市民に不利益を講ずることになってはいけない。保育の参入に国・県の補助金を活用することは市民に何ら不都合が生じることではない。

祖父江伯母塚の公園の土地について、山田議員の長男の土地で、12月議会でも市民から疑惑のおそれがあり購入すべきでないと言算から削減をする修正案を可決した。また、清流会の進出計画について、ある議員は清流会とは古くからつながりの疑いがあり、6月の総務常任委員会での発言でも、事前に計画を知り、市に何遍でも念を押す発言をし、進出計画を盛り込ませ、政治的な圧力をかけているのではないかと疑惑を感じる。
公営・民営化に関して説明不足で混乱している。事業者選定に公平性を欠いている。あまりにも短期間で決め方は、公正性に欠ける。現在の瑞穂市の公立保育園は、定員(未満児を除く)にゆとりがある。

これら討論の後、まず、修正案に対する採決を行い、賛成多数で可決した。続いて修正議決をした部分を除く原案に対する採決を行い、これも賛成多数で可決した。

平成23年第3回定例会(9月)で議長に提出された請願は1件で、本会議に上程された後、総務常任委員会に付託された。

件名 「地区公民館補助金増額に関する請願」

内容 瑞穂市地域集会所施設建設事業補助金交付規則第3条補助金の額(1/3)を、概ね1/2から2/3に引き上げてほしい。

請願書

審議結果 継続審査

意見書

本定例会に提出された意見書は次の1件でした。
・学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書について

議員表彰

平成23年度瑞穂市顕功者表彰が行われました。
【議員15年以上表彰】
小寺徹 小川勝範

「瑞穂市議会基本条例（素案）」を作成し、パブリックコメントを実施しました

瑞穂市議会では、議会基本条例検討特別委員会（10回開催）において、議会に求められる役割や責務などを明確にし、市民に開かれた議会のあるべき姿を定める条例を取りまとめました。

この条例は、議会が市民のみならず、市民参加を積極的促進することにも、公平・公正な議会運営をお約束し、議会、市長、市民が協働しながらまちづくりを進めようと考えています。

広く市民のみならずのご意見を求め、この条例を12月議会に提案する予定です。



議員研修報告 10月13日 下水道処理方式を決定 11月10日 中濃十市議会議員研修（瑞穂市）

下水道推進特別委員会が、下水道処理方式をオキシデーションディッチ法と決定した。

当市の特定環境保全公共下水道やコミュニティ・プラントで採用のオキシデーションディッチ法での整備を計画しているが、処理方式によって必要となる処理場面積が異なるため、他の処理方式である、木曾川右岸流域下水道終末処理場を視察し、他の処理方式と比較することにより、当市に最適な処理方式を確認し、視察後に開催された委員会で決定した。



中濃十市議会議長会（関、羽島、美濃、美濃加茂、各務原、可児、山県、瑞穂、本巣、郡上の各市で構成）主催の議員研修会を瑞穂市市民センターで開催した。

研修会では、NPOレスキューストックヤード代表理事の栗田暢之氏を講師に迎え、「災害時における議会及び議員の行動と活動について」と題する講演を受講した。



議会活動日誌

2日～3日	議員研修（塩尻市・諏訪市・飯田市）	8日	土地財産調査特別委員会	30日	議員定数削減検討特別委員会（第4回）
5日	議会基本条例検討特別委員会（第6回）	9日	議会基本条例検討特別委員会（第8回）	6日	文教常任委員会協議会
5日	議会広報編集委員会	12日	文教常任委員会	6日	行政視察（石川県野々市町議会）
8日	産業建設常任委員会（継続審査）	13日	厚生常任委員会	7日	議会広報編集委員会
11日	議会運営委員会	14日	総務常任委員会	7日	議会全員協議会
19日	議会基本条例検討特別委員会（第7回）	15日	議会基本条例検討特別委員会（第9回）	7日	議会基本条例検討特別委員会
24日	文教常任委員会協議会	21日	平成23年第3回瑞穂市議会定例会（一般質問）	13日	下水道推進特別委員会（第4回）視察
26日	議会運営委員会	22日	平成23年第3回瑞穂市議会定例会（一般質問）	14日	文教常任委員会協議会
		27日	議会運営委員会	21日	下水道推進特別委員会（第5回）
		27日	平成23年第3回瑞穂市議会定例会（最終日）	24日	議会広報編集委員会
		30日	議会基本条例検討特別委員会（第10回）	26日	もとす広域連合議会定例会（初日）
2日	平成23年第3回瑞穂市議会定例会（初日）				
7日	議会運営委員会				
8日	平成23年第3回瑞穂市議会				

会派代表質問



新生クラブ 棚橋敏明議員

Q 防災拠点、避難所としての公園が必要なのに穂積地区には全く無いが、今回議案にある予定地も含め、今後の計画は。

A 都市整備部長 公園・緑地等基本計画に基づき、街区公園を最初に整備した

防災対策について

Q 防災拠点として必要性のある穂積コミュニティセンターの計画はどのようになったのか。

A 総務部長 地域の中で公民館の方がいいよとか、場所について色々な意見が出ています。穂積地区の自治会長、各種団体等を含めてオープンに話し合う機会を持って、皆様の意見をいただきながら計画を立て、市民に公表しながら進める必要がある。

Q 集落周辺水路、アンダーパス等の増水時の安全確保標示等は出来ているのか。

避難所、集会場としての公園計画は

土地の確保ができれば、順次整備したい



▲穂積野口の公園計画地

Q 残り的重要な地元より出ている箇所についても、順次、財政状況等を考慮して整備したい。

A 調整監 冠水ラインの整備ですが、アンダーパスについては、県道では市内に2カ所、市道では1カ所あり、既に工事は完了している。

Q エリアメール等、災害時の広報手段の調査、研究、実行は。

A 総務部長 伝達手段にはそれぞれ欠点もあるもので、現段階としては、色々な手段を使い皆様にお知らせするということが必要である。

ごみのリサイクルについて

Q リサイクルセンターを美来の森に、いつ造り、どのように運営していくのか市民に分かりやすく広報し理解してもらえようようにするべきだが。

A 環境水道部長 今年度の粗大ごみ有料化及び分別の徹底化について所要のデータ等取得し、また美来の森の最終処分場の廃止や焼却炉の撤去等の事業を進めつつ、どういった施設がよいのか等、平成25年を目途にリサイクルセンター整備についての案を市民にお示ししたい。

会派代表質問



日本共産党瑞穂市議員団 小寺徹議員

Q 国が計画している子ども・新子育てシステムは、市の保育実施の責任をなくすものではないのか。

A 教育長 新システムは、国・県と連携し、市町村に自由度を持たせて地域の実情に合わせた保育を提供・確保するとされている。また、基盤整備を図るなど権限と責務を位置付けるものとなっている。

Q 国の保育の最低基準を廃止するものではないのか。

A 教育長 地域の実情にあわせた保育基準とされているが、今後さらに検討が行なわれるので、議論の推移を見守る必要がある。

Q 保育料が応能負担（収入に応じた保育料）から応益負担（保育時間に応じた保育料）に変わるのではないのか。

牛牧第1保育所の整備計画はどうなのか

同じ場所で公設公営として運営していく

保育の必要量により保護者負担に差があると予想されるが、応能負担、応益負担の組み合わせであろうと認識している。

Q 保育所の設置は県による認可制度であるが、参入・撤退が簡単な指定制度に変わるのではないのか。

A 教育長 保育所に係る客観的基準を満たすことを要件に、各種多様な事業主体の参入を認め、その中から利用者がニーズに応じた施設や事業を選択できる指定制度を国は積極的に推進しようとしている。

Q 社会福祉法人清流会が上牛牧へ保育園を新設する事業計画書によると、牛牧第1保育所の老朽化に伴う保育所整備計画がある」とあるが、この保育所の新設計画は、牛牧第1保育所に変わって民営化するのはないのか。

A 市長 他の市町では、保育所の民営化が進むなか、瑞穂市は公設公営で保育所運営を進めている。過去には、位置的なことも含めて保育所の整備計画を検討していたが、牛牧第1保育所は、位置を変えるのは容易ではないと考えます。

民間保育所の新設は、市外の保育所・幼稚園へ通園している子供たちも多くいるため、保護者の選択肢が増えると考えます。

その他の質問
・シルバー人材センターについて



会派代表質問



公明党 若井千尋議員

エコキャップ回収運動を市全体で取り組んで「福祉のまち」瑞穂市を具体的に大々的にPRしてはどうか。

市長 エコキャップをワクチンと交換でき、その推進について先の少年議会で議決とされた。また市民

のかたで知らない人がたくさんいるので、「福祉のまち」として広報紙も通じて大いにPRしていきたい。



市長 エコキャップ(ペットボトルのキャップ)の回収への取り組みは福祉のまちとして大いにPRしていきたい

防災対策について

聞こえにくい防災行政無線の改善状況はどうか。サイレンやフリーダイヤルを活用した伝達の考えは。

副市長 市として、防災計画、防災マニュアルを作成し見直しをしている。自治会の研修において防災に関する講習会の中で講師が、「災害があつてからは、行政はあてにならない。3日間は自分で生きてください。」とはっきり言われた。市での防災のマニュアルは各種作成してあるが、それを機能させるまでは、とにかく地元の方で互いに助け合うために防災組織を作ることをお願いしている。

副市長 市として、防災計画、防災マニュアルを作成し見直しをしている。自治会の研修において防災に関する講習会の中で講師が、「災害があつてからは、行政はあてにならない。3日間は自分で生きてください。」とはっきり言われた。市での防災のマニュアルは各種作成してあるが、それを機能させるまでは、とにかく地元の方で互いに助け合うために防災組織を作ることをお願いしている。

総務部長 防災行政無線の聞こえ方には、風雨の日など天候に左右されやすくメリット、デメリットがあるが、地震の際には有効な手段と考える。複数の手段を活用し補い合いたい。サイレンには、各種の設定がありその内容により流す時間、回数が決められている。今後周知も含めて検討したい。またフリーダイヤルも

総務部長 防災のあり方については、防災訓練を含み地元での危機管理をしてもらうよう方向付けている。自治会に防災組織をつくっていただくようお願いしている。また、地域に自主防災リーダーを養成して継続した取り組みが必要である。

副市長 市として、防災計画、防災マニュアルを作成し見直しをしている。自治会の研修において防災に関する講習会の中で講師が、「災害があつてからは、行政はあてにならない。3日間は自分で生きてください。」とはっきり言われた。市での防災のマニュアルは各種作成してあるが、それを機能させるまでは、とにかく地元の方で互いに助け合うために防災組織を作ることをお願いしている。

その他の質問 ・芝生化の推進について

会派代表質問



民主党瑞穂会 広瀬捨男議員

75歳以上の一人暮らしの高齢者への給食サービスが月2回多くのボランティア・民生委員の方の協力で行われている。しかし、近隣市町村は65歳以上が対象で実施のため市民の要望が多い。市給食センター等を活用し、65歳以上に引き下

げできないか。 福祉部長 現在の社協が行っている75歳以上の一人暮らしの方への配食サービスの第一の目的は見守りである。日常生活が困難に

一人暮らしの高齢者への給食サービスの拡充は現在75歳以上が必要と判断している

感じたり体調に変化を感じる一つの区切りや、また、見守りの必要が高くなると判断しているのが75歳以上であるとされており、趣旨をご理解いただきたい。

小学校名の名称は

市立中小学校の門前で見知らぬ人から、「この学校は中小一貫校ですか」と尋ねられた。学校創立以来、歴史を積み重ねてきた川崎・船木・鷺田のなつかしい小学校の名称に復活を切望されている市民も大分お見えである。市の考えは。

鷺田の地名が東南地域に現在存在しないからである。いずれにしても、父兄が現在の西、中、南小学校の卒業生ということで、校名にも愛着があることから反対の意見が圧倒的である。教育委員会としても現在の校名のまま変更する考えはない。



▲東南地域の中小学校

教育次長 過去に3町で合併協議の時に、三つの小学校のPTA、保護者の代表に対して説明会や意見聴取を行ったが、全員が旧村名にするのは反対でした。理由は旧村名の川崎、船木、

合併協議の中で決められた経緯があるが、旧東南の自治会長も相当新しい人にかわっているので一編どんな意向なのか当たってみようと思う。

市長 合併協議の中で決められた経緯があるが、旧東南の自治会長も相当新しい人にかわっているので一編どんな意向なのか当たってみようと思う。

その他の質問 ・名古屋紡績誘致の代替地は

会派代表質問



改革 西岡一成議員

3月議会で堀市長は「登記に基づいた適正な運営をしなければ、補助金は出せない。施設も貸与できない」と答弁されたが、その後もI氏は「Mは理事長ではないし、代表理事でもない」「Mは不正を行っている」と等と、むちゃくちゃな発言を重ね、まったく反省していない。この際、シルバー人材センターには、期限を

切って出て行ってもらうべきではないか。 市長 適正な運営がされない施設は無償貸与もできないと申し上げたので、十分に検討してそれなりの結論を出したい。

みずほ公共サービス(株)や施設管理公社との関係も整理すべきではないか。 市長 将来はこういったものの統合を考えて、シルバー人材センターが正常化できれば、しっかり支援したい。また議会とも相談しながら、最も良い形で市の外郭団体として運営がされるように進めたい。

シルバー人材センターに対する指導について 市長 定款・登記に基づきしっかりと運営していただくよう指導したい

南ふれあい広場の西側の用地は順次買収を進め、あと残りは一区画だけとなった。土地所有者との交渉はどのように進んでいるか。 市長 職員では対応が難しいので私が交渉に当たっている。そんなに引き延ばすわけにはいかないのだから、何とかな年度内にお願いで

全部一編に利用できなくとも順次整備するのとことだつたが、整備計画は。 教育次長 県に無償残土を申請しているが、公共工事が少なく手に入らない。あれだけ広い敷地なので何



▲南ふれあい広場の西側の未利用地

脱タバコ社会について

喫煙は万病のもと。一番大切なことはガンにかからないように予防すること。まず、住民の喫煙率を男女別に調査(小・中学生も含む)。喫煙率を減らすための数値目標の設定。喫煙による健康障害や経済的損失についての教育活動の強化。公共の場での喫煙禁止等。提案させていただきました。市の考えは。

健康増進法の計画を立てている。その中でこういうことも資料を整えながら提案していきたい。



喫煙は人殺し ▲各国のタバコ箱の表示

牛牧第1保育所は、今の場所です。公設公営でやるという理解でよい。 市長 保育所の問題について、牛牧第1保育所を民営化するということは一過も言っていない。場所を変えるというのは住民感情もあり難しい。結局のところ私としては、現在あるところではないかと考えて

災害時に協定を結んでいる緊急対策協力会などの地元の企業が果たす役割は大きく、元気であることが重要である。議会で可決した住宅リフォーム助成事業のように市内の事業者の振興及び活性化を図る意味でも「市内に本店を有する者」と限定して行う事例がないのはなぜか。

市が行う契約者が、暴力団排除措置対象に該当するかどうか、警察署との連携を図り、暴力団排除の体制は整備されているのか。

市民に対する情報の提供、技術的な助言その他の必要な協力を行う体制は整備されているのか。

総務部長 4月1日から岐阜県の暴力団の排除条例が施行され、7月22日に瑞穂・本巣・北方地区暴力団放逐協議会が設立された。少しでも市民の皆さんに情報をお知らせしたい。

福祉部長 本年度にお

本年度にお

本年度にお

本年度にお

本年度にお

本年度にお

会派代表質問



みづほ会 堀 武議員

Q 市内における液状化予想地図の精度を高め、市民に地質の状態を知ってもらふ必要性は。

A 総務部長 市内の地盤は国土省の土地分類基本調査によると砂・泥で覆われている。残念なことには...

厚生労働省方針の医療計画で精神疾患が5大疾病に加えられることについて

Q 15歳から18歳までの発症率の高い統合失調症について教育現場ではどのような理解し、指導されているのか。

A 教育長 学校現場では一人ひとりの様子をつぶさに観察しながら、不可解な行動・集中力が急に低下...

災害時の予防知識の広報活動について

総務部長

液状化は間違いない

1ドマップによると液状化は間違いないので、少し知識を深めていただきたい。想定外の地震といわれているように想定以上の場合を仮定して、上下水道はどのような対策を採られてとを考えている。

複断面水路について

Q 農業用水路と悪水が一緒のため、用水の水が不必要時の臭いと蚊に悩まされている。特にボックスカルバートの水の流れの悪さが気になる。今後の対策は。

A 都市整備部長 水路の複断面工事は、別府・只越地区ではほぼ完了し、各地区は地元要望・バランスをとりながら順次計画的に進めている。複断面水路は断面が小さくなるという面もあり、地域の状況に応じて進めていきたい。蚊とかに



▲水の流れの悪い改良前の排水路

その他の質問
・みずほバスの本田・馬場線について

個人質問



土田 裕議員

Q 国保税歳入・歳出は。A 市民部長 医療分の税率を改定した結果、2年連続の単年度収支赤字から、平成22年度は2046万6000円の黒字となった。

Q 国保税の税率と賦課割合は。A 市民部長 平成22年度税率と賦課割合は所得割6%で41.37%、資産割30%で11.41%、均等割2万7500円で33.20%、平等割2万2500円で14.02%である。

Q 国保税の収納状況は。A 市民部長 平成22年度分は90.61%で前年度より0.41%の増加。過年度分は10.44%で前年度より1.62%の伸びである。県内21

牛牧排水機場について
Q 当排水機場の整備計画は。A 調整監 牛牧排水機場は市で管理しているが、犀川流域の内水排除と一体的な整備の協議、並びに要望を行っている。県では牛牧開門前後の概略設計に取りかかっており、この計画を見ながら、今後の計画が立案されていくと考えている。

Q 特定健康診査の受診率は。A 市民部長 平成22年度の受診率は44.35%で、昨年度より0.61%の上昇である。
Q 人間ドッグ費用助成の内容は。A 市民部長 特定検査項目をより安価な契約でできる。

Q 賦課割合について。A 市民部長 賦課割合については他市より高いので検討したい。基金の活用についても、運営上、余裕があれば保険税の抑制にもつなげていけるように検討したい。保険税率の引き下げについても、昨年より増加しているため、今後、税率の見直しも視野に入れて検討したい。



▲牛牧排水機場

国民健康保険事業特別会計について

団塊世代の被保険者が増加傾向にある

市民部長

市中現年度分は19番目、過年度分は21番目である。他近郊の市町の国保税の現状は。A 市民部長 賦課方式や税率はそれぞれの市町の財政状況により違う。例えば、医療分の所得割では、3.05%から7.40%までの開きがある。

Q 基金及び一般会計から国保会計への繰り入れを、国保税の値下げはできないのか。A 市民部長 賦課割合については他市より高いので検討したい。基金の活用についても、運営上、余裕があれば保険税の抑制にもつなげていけるように検討したい。保険税率の引き下げについても、昨年より増加しているため、今後、税率の見直しも視野に入れて検討したい。

個人質問



若園五朗議員

Q 包括外部監査結果の報告を受け、公共施設使用料の見直しや、類似施設の統廃合は。

A 副市長 重複する施設は、経営的な視点から効率性や費用対効果も考える必要があるが、単純にそれだけでは推しはかれない部分もある。真にその施設が公共の福祉に資する施設であれば、経営的理念から外れることがあってもその施設が必要であるという感じを持たざるを得ない。その施設を公共の福祉と判断するのは市民・議会であり、市としてはこの施設を必要と認める限り、運営費を予算化して議会に問うことになる。料金等については、受益者負担の原則という観点から精査をしている。来年度予算にも、検討結果を反映させたい。

公共施設の使用料の見直しは

受益者負担の適正化など統一的な見解を検討したい

企画部長

設を公共の福祉と判断するのは市民・議会であり、市としてはこの施設を必要と認める限り、運営費を予算化して議会に問うことになる。料金等については、受益者負担の原則という観点から精査をしている。来年度予算にも、検討結果を反映させたい。

平成23年8月現在

Table with 5 columns: Facility Name, Total, Disposal Status, Improvement Status, and Opinion. Rows include various community centers and facilities.

(平成22年度包括外部監査の指摘事項に対する進捗状況と今後の取り組みについて)より抜粋

個人質問



熊谷祐子議員

Q 保護者から投書があり調査した結果、公営化と教育委員会への移管により、職員と指導員の力量、学習の位置付け等、以前よりレベルダウンが見られる。対策として、幼児支援課から学校教育課へ管轄を移す担当職員を教員資格のある職員にする。補助職員の仕事を事務限定させる等の指示系統を遵守させる等の

Q 穂積中の新校舎は内壁が弱く破損が多い。その後建てられた菓南中の新校舎内壁は二重張りとし破損はない。予定価格より4億6300万円安く落札されたが、手抜き工事はなかったのか。腰板の高さまで工事をやり直したらどうか。

Q 穂積中の新校舎は内壁が弱く破損が多い。その後建てられた菓南中の新校舎内壁は二重張りとし破損はない。予定価格より4億6300万円安く落札されたが、手抜き工事はなかったのか。腰板の高さまで工事をやり直したらどうか。



▲穂積中学校の壁の穴 (修理費は平均1万8633円)

放課後児童クラブのレベルダウンが見られるが

教育長

この事業は学習が目的ではなく、遊びや生活の場を与え、健全育成を図ることである。改善を図るべきで、厚労省のガイドラインに沿って迅速かつ適切な対応と解決を求めたい。

A 教育長 放課後児童クラブの目的そのものが、遊びとか生活を保障する事業であり、決して塾ではない、学習がメインではない。また、全員の指導員が教員資格があるわけではないし、それぞれの場所に任せては責任が持てないので、統一した指導方針を指示している。動き出したばかりなので一年間は今のままで見守りたい。

A 教育次長 仕様書どおりJIS規格の製品で現地も施工後も確認し、手抜き工事ではない。生徒自身が壁を蹴った・殴った、物を投げて壊した事例が平成22年度に10件あり、故意であるものは責任をとってもらった。物を大切にすることを教育・指導をしたい。

Q 県の「伝統文化継承者顕彰」の対象である柳こうり(宝塚歌劇団で使用されている)について、県から問い合わせのあった市教育委員会の推薦をしなかったのはなぜか。

A 教育次長 表彰候補基準には活動歴と年齢は該当するが、継承活動に関しては現在若干不明確である。今後は県と検討したい。

個人質問



庄田昭人議員

Q 収納対策プロジェクトチームの成果、また強化・充実。

A 市民部長 収納率が低い国民健康保険税を中心に活動している。県に職員を派遣し、収納ノウハウのあ

特定目的基金について

Q 特定目的基金である農村活性化対策基金と地域福祉基金の運用は。

A 企画部長 これらの特定目的基金は、定額の資金を運用し、その収益を事業に充当する果実運用型基金として運用している。

Q それらの基金はどの会計に属し、何に計上しているのか。

A 企画部長 一般会計に属する基金である。歳入は財産収入の利子及び配当金に計上し、歳出については地域福祉基金は、民生費の老人福祉費に、農村活性化対策基金は、農林水産業費

税外収入の滞納対策について

副市長 収納ノウハウの伝授と職員のレベルアップを図りたい

る職員を一人でも多く養成したい。

Q 税外収入も滞納額が膨らみ、不納欠損額も増えるが、どう考えるのか。

A 副市長 収納対策プロ

粗大ごみ等について

Q 粗大ごみ有料化における駆け込み搬入量ほどの位置があったのか。

A 環境水道部長 美来の森、菓南集積場ともに前年度同時期の5〜6倍の搬入量があった。

Q ごみの問題への今後の考えは。

A 環境水道部長 ごみ分別の徹底を最重要課題と考える。リサイクルなどを推進し、ごみの減量と収集及び、処理費用の抑制に努めたい。



▲美来の森の焼却炉

Q 美来の森の焼却炉施設解体処理における問題点は何か。

A 環境水道部長 焼却炉の撤去については、廃棄物の焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱、廃棄物焼却施設解体作業マニュアルに沿って実施する。汚染物質を調査し、ダイオキシン類、重金属等有害物質の有無により飛散防止等の処理が必要となる

個人質問



森 治久議員

Q もとす広域管内の特別養護老人施設(特養)の利用状況と待機状況はどうか。

A 福祉部長 もとす広域管内には、5つの特養があり、内2つが市内にある。これらの施設の定員は422人で内128人の市内のかたが入所している。特養への待機者は、累計で1900人を超え、内345人が市内のかたである。

Q 入所希望者への対応と課題は何か。

A 福祉部長 施設の整備はもちろんだが、高齢者が住みなれた地域で自立した生活が営めるように、医療機関との連携の強化、介護

瑞穂市独自の高齢者対策は

Q 介護保険制度とは別に市独自の施設、事業の考えは。

A 市長 独居、高齢者世帯に徹底した見守りの福祉を推進していきたい。地域、民生児童委員のかたやボランティアを含めて取り組んでいきたい。また、古いアパートを整備した事業も考えられる。



▲市内の特別養護老人施設

市長 地域の中で徹底した見守りの福祉を推進する

サービスの充実・強化、予防推進、生活支援サービスの確保、権利擁護が大切となる。特に今後は、介護予防の事業を推進していきたい。

Q 介護保険制度とは別に市独自の施設、事業の考えは。

A 市長 独居、高齢者世帯に徹底した見守りの福祉を推進していきたい。地域、民生児童委員のかたやボランティアを含めて取り組んでいきたい。また、古いアパートを整備した事業も考えられる。

Q 高齢化が進む中、自治

ある。それについても関係機関との調整を進める必要がある。

Q 牛牧小学校のグラウンド拡張を見据えた増築計画は。

A 教育次長 現在、牛牧小だけがグラウンドの基準

個人質問



広瀬武雄議員

Q 現在の本庁舎は築46年経過し、老朽化している。災害時の救援活動の司令塔として電気通信など庁内のインフラが十分稼働できる庁舎であるか否か不安である。建て替え時期を定め、庁舎建設を目的とした基金の積立を来年度からすべき

ではないか。

A 総務部長 台風の際には2階の南側で雨が一部しみ込む状況のため、庁舎の点検をし、少しでも長寿命化ができないかを検討し進めたい。庁舎建設を目的とした基金も将来に向け前向

当市の本庁舎建て替え計画の考え方は

市長 庁舎建設も課題であるが、学校・保育所等の公共施設の整備事業を優先的に進めたい

には、

A 都市整備部長 市が管理している橋は市内に589橋ある。前野橋は平成11年に耐震点検をしており、近い将来、架け替えの必要性はあるが、補修補強できれば対応したい。

Q 柳一色橋の拡幅、架け替えや歩道橋の単独設置計画の進捗状況は。

A 都市整備部長 既存の橋とは分離した歩道橋を南側に設置する計画である。

Q 別府の前野橋は昭和27年に架けられ相当老朽化している。また大変狭い橋で、架け替える時期が来ている

の。前野橋や柳一色橋の架け替えについて

Q 別府の前野橋は昭和27年に架けられ相当老朽化している。また大変狭い橋で、架け替える時期が来ている

個人質問



松野藤四郎議員

Q 勤務体制、業務受付処理件数は。

A 企画部長 宿直は男性職員1名が午後5時15分から翌日午前8時30分まで。日直は女性職員2名で日曜・土曜・祝日の午前8時30分から午後5時15分まで行っている。年間で、電話は3962件、来庁者は563人、戸籍関係の届出は32

宿日直のあり方について

企画部長 他市の状況を参考に、宿日直検討委員会で調整したい

5件であった。

Q 宿直勤務後、引き続き平常勤務に就いており職員の健康管理上、問題があるのでは。

A 企画部長 法的には問題はない。業務に支障のない限り有給休暇の取得の推進として環境を整えたい。

Q 一部の市でも実施して

いるように、簡易な業務につき業務委託できないか。

A 企画部長 戸籍の受領、埋火葬の許可証の交付、緊急時の対応など解決しなければいけない事項が多々ある。他市の委託状況を見ながら検討したい。

Q 市が財政基盤となる財政力指数が年々悪化し今年度は0.79である。その要因は。

A 企画部長 収入額を需要額で割ると財政力指数が出る。税収の減少で基準財政収入額が減り、国の地域活性化策で基準財政需要額が膨らんでいるためである。

公園整備について

Q 昨年第4回定例会で議案となった公園整備はいつ実施するのか。

A 都市整備部長 財政の許す範囲内で整備を進めていきたい。



▲穂積野口の公園計画地

その他の質問 穂積コミュニティセンターについて

議案の審議結果 (平成23年度第3回瑞穂市議会定例会 9/2～9/27)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥
 新…新生クラブ、共…日本共産党瑞穂市議員団、公…公明党、民…民主党瑞穂会、改…改革、市…瑞穂市民クラブ、み…みづほ会、無…無会派 議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。(議長 星川睦枝)

議案名等	議員名(会派別) (◎は会派代表者)	新														議決結果	議決月日					
		◎藤橋礼治	◎小川勝範	◎広瀬武雄	◎棚橋敏明	◎森治久	◎庄田昭人	◎土屋隆義	◎小寺徹	◎土田裕	◎若井千尋	◎広瀬捨男	◎松野藤四郎	◎西岡一成	◎熊谷祐子			◎山田隆義	◎清水治	◎堀武	◎星川睦枝	◎若園五朗
議案第45号 岐阜県市町村職員退職手当組合理約の一部を改正する規約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第46号 瑞穂市まちづくり基本条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第47号 瑞穂市防犯カメラの設置及び維持管理に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第48号 瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第49号 瑞穂市税条例等の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第50号 瑞穂市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第51号 平成22年度瑞穂市一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第52号 平成22年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第53号 平成22年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第54号 平成22年度瑞穂市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第55号 平成22年度瑞穂市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第56号 平成22年度瑞穂市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第57号 平成22年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第58号 平成22年度瑞穂市水道事業会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第59号 平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号) [※修正議決した部分を除く原案]		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9/27
発議第3号 議案第59号平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案		○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	9/27
発議第4号 議案第59号平成23年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号)に関する付帯決議について		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9/27
議案第60号 平成23年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第61号 平成23年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第62号 平成23年度瑞穂市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第63号 平成23年度瑞穂市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第64号 平成23年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議案第65号 平成23年度瑞穂市水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
議員提案 発議第2号 学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/27
請願第1号(平成22年) 住宅リフォーム助成制度創設を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/2
請願第1号(平成23年) 地区公民館補助金増額に関する請願		継続審査																				

